

* 奨学生近況 *



ちょっと緊張気味？の新入生4名。

左から：マイケル（農業学部・19歳）、ロデル（文学部・19歳）、メリジェン（看護助手コース・17歳）、アーノルフォ（自動車整備コース・20歳）

新あしなが奨学生に会いました！

昨年は新規募集をしなかったあしなが奨学生（ブラクール村出身者への奨学金）。本年度は数名の会員からお申し出をいただいたので、ブラクール小学校運営支援を（果物やアバカの収入を期待して）少し減らし、ハイスクール卒業生4名の進学の夢をかなえることになりました。

一方で残念なお知らせです。健康上の問題はないのに欠席がちで、ほとんどの単位を落としたジェシーは、今後の奮起と復学を期待して奨学生からはずしました。結果として、在學生2名と新規の4名、合計6名を支援します。一口月額2,500円のあしなが会員は現在募集中です。

傘をありがとう！

通信36号で、ブラクールの子どもたちが、雨の日はずぶぬれで登校することを知った会員の方から、傘（女兒）とカップ（男児）購入資金をいただきました。同じ状況のCMBの小学生にもということで、合計約400名の子どもそれぞれに、傘、または、カップがプレゼントされました。（写真はアトゥモロック小でのプレゼント風景）



給与の裏づけがないのに、コミュニティのために・・・はむずかしい —3月卒業生の動向—

スミンディア（写真右）：P1で紹介のナイアリ（左）と同じく薬剤師助手コースを卒業しました。薬局に職をみつけたと聞いていましたが、7月訪問時には結婚したという報告を受けました。家庭に入っても巡回診療時などに手伝ってもらえるのではと行動力のある彼女に期待しています。

スヌーリア：ピラーン民族出身で初のCMB本部スタッフ誕生？と最後まで私たちも期待をし、彼にも期待させてしまいましたが、CMBは資金難で新規スタッフの雇用なしとなりました。寮の後輩の話では、サランガニ州先住民族特別奨学金を受けて弁護士になるため勉学を継続するようです。現在確認中です。

メリアン：NDMU初等教育課程を優秀な成績で修了し、公立学校教師資格試験に備えながらラムブソンで（CMBラムアス小学校）1年生を教えています。

メリアンはじっとしていない子どもたちにも、しっかり話しを聞かせることができると、CMBディレクターのヴィック神父は彼女の能力と仕事振りを高く評価しています。しかし教師についても新規採用の余裕はないため、メリアンはボランティアとして食事と住居の無償提供のみで働いています。試験に受ければ家族のためにも公立学校教師の道を選ぶことになるでしょう。

マルチノ：車整備2年コース終了後、ダバオで1年間有機農法を学んだマルチノも、CMBスタッフとして採用されることはなくて、故郷シラルの村で自分の畑をモデルファームとして近隣の住民に学んだことを伝える予定と聞いています。

